



衛研ニュース

第11号

川崎市衛生研究所

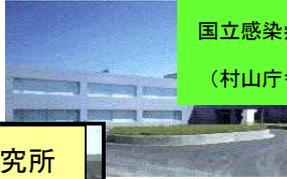
平成23年2月発行

国・他都市衛生研究所等との連携

国立医薬品食品
衛生研究所



国立感染症研究所
(村山庁舎)



川崎市衛生研究所



国立保健医療
科学院



神奈川県
衛生研究所等



ホームページ掲載写真を使用させていただきました

インフルエンザをはじめとする感染症の全国的な広がりを早期に捉えて予防策に活かしたり、食品・医薬品等の事故の拡大を防ぐため、国の研究機関や各都市の地方衛生研究所等と情報の共有化を図っています。

また、新たな試験検査法の開発に係わるデータの共同収集、評価、情報交換等も行っています。

今回、その一部を御紹介します。

細菌・ウイルスの遺伝子情報の共有

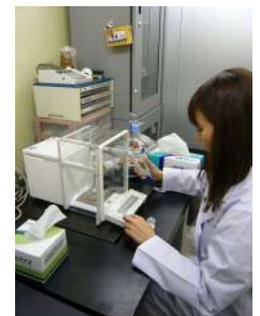
薬剤耐性を持つウイルスや細菌の早期情報把握を行うため、衛生研究所が分離したウイルス株や菌株を遺伝子解析し、その解析情報を共有しています。

また、食中毒菌等の遺伝子解析情報を共有することで、全国で発生した食中毒事件の関連性調査に役立てています。



試験検査等の情報交換

神奈川県内6か所の、県・政令市の衛生研究所等では、様々な理化学検査を実施しています。これらの検査に係わる操作や手技をお互いに確認しあうため、共通の未知検体を用いて模擬検査を行い、検査結果の正確さ等を報告し合っています。



精密天秤で計量中です

全国の衛生研究所等との会議

各都市衛生研究所等の所長会議をはじめ、公衆衛生情報部門、微生物検査部門及び理化学検査部門に分かれて、研修会や会議を行っています。



地方衛生研究所全国協議会
関東甲信静支部所長会議にて

花粉症

スギをはじめとする、風に乗って花粉が運ばれて受粉する花（風媒花）は、花粉症の主な原因と考えられています。全国的な調査で、花粉症を有する人が約3人に1人いるという報告があります。

花粉症の正体は、花粉に対して人間の体が起こす異物反応です。体が花粉を外に出そうとするために、「くしゃみ」で吹き飛ばしたり、「鼻水」「涙」で花粉を洗い流そうとしています。（花粉症環境保健マニュアル2009年版 環境省発行より）



花粉飛散状況調査

空中花粉調査は、衛生研究所屋上に花粉捕集器を設置して、花粉を捕集し、光学顕微鏡で確認しながら計数します。上空花粉調査は、川崎市域及びその周辺3地点の、高度300m上空で花粉を捕集し、同様に計数します。捕集したスギ及びヒノキ花粉の調査データは、健康福祉局健康安全室からホームページ等で随時公表します。

ダラム型花粉捕集器による空中花粉捕集



スライドガラスを静置して、24時間中に落下する花粉を捕集します。

ヘリコプターによる上空花粉捕集

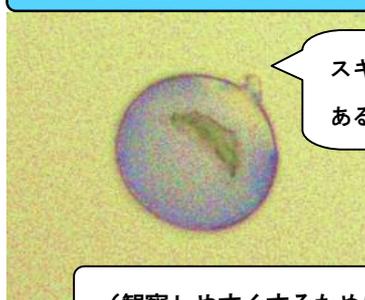


消防局の協力を得て、川崎市上空、東京湾上空等に浮遊する花粉を捕集しています。

スギの雄花

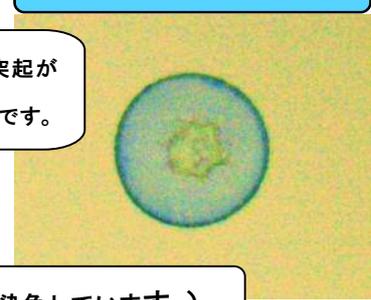


スギ花粉の拡大写真



スギ花粉は突起があるのが特徴です。

ヒノキ花粉の拡大写真



（観察しやすくするために青色に染色しています。）

★平成22年4月から23年1月までの『衛研ニュース』を下記HPアドレスからご覧いただけます。

発行元 川崎市衛生研究所

〒210-0834 川崎市川崎区大島5-13-10

電話 044-244-4985 FAX 044-246-2606

メールアドレス 35eiken@city.kawasaki.jp

HPアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/35/35eiken/main.html>



KAWASAKI CITY
川崎市